

世界初、「高解像度版浮遊球体ドローンディスプレイ」を開発

～空飛ぶ高精細な映像によるダイナミックな広告が可能に～

株式会社NTTドコモ(以下、ドコモ)は、無人航空機(以下、ドローン)を活用した新たなビジネスの創出に向けて、世界で初めて※1全方位に高解像度映像を表示しながら飛行することができる「高解像度版浮遊球体ドローンディスプレイ」を開発いたしました。

2017年開発の「浮遊球体ドローンディスプレイ※2」はLEDフレームを回転させて映像を表示しながら内部のドローンにより飛行する球体ディスプレイです。「高解像度版浮遊球体ドローンディスプレイ」は、LEDフレームのLED搭載数と制御基板を刷新することで、従来の12倍超の解像度(縦半周320×横1周760pixel)を達成しました。今回の開発により、従来の機体では難しかった実写の映像やアニメーションなどさまざまなコンテンツを空間の好きな場所によりリアルに表示できるようになりました。

今後、2018年度の商用化をめざし、スタジアムやコンサートホールなどのイベント会場向けソリューション(舞台演出、広告および案内等)としての提供を検討してまいります。

なお、2018年4月28日(土)から幕張メッセで開催される「ニコニコ超会議2018」の「NTT超未来研究所 5th GENERATION NTT超未来大都会」に「高解像度版浮遊球体ドローンディスプレイ」を出展し、会場内でのデモ飛行を予定しております。

ドコモは、これまで培った知見やモバイル技術をもとに、これからもドローンの取り組みを進化させてまいります。

※1 2018年4月19日時点(ドコモ調べ)

※2 2017年4月17日報道発表 https://www.nttdocomo.co.jp/info/news_release/2017/04/17_00.html

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社NTTドコモ
先進技術研究所 社会センシング研究グループ
TEL:046-840-3320

「高解像度版浮遊球体ドローンディスプレイ」概要

1. 主な仕様

	高解像度版浮遊球体ドローンディスプレイ	(参考)2017年開発の 浮遊球体ドローンディスプレイ
最大直径	約90cm	約88cm
重量	5.5kg	3.4kg
ディスプレイ	縦(半周)320pixel×横(全周)760pixel	縦(半周)144pixel×横(全周)136pixel



図1: 高解像度版浮遊球体ドローンディスプレイ外観



図2: 高解像度版浮遊球体ドローンディスプレイ飛行時

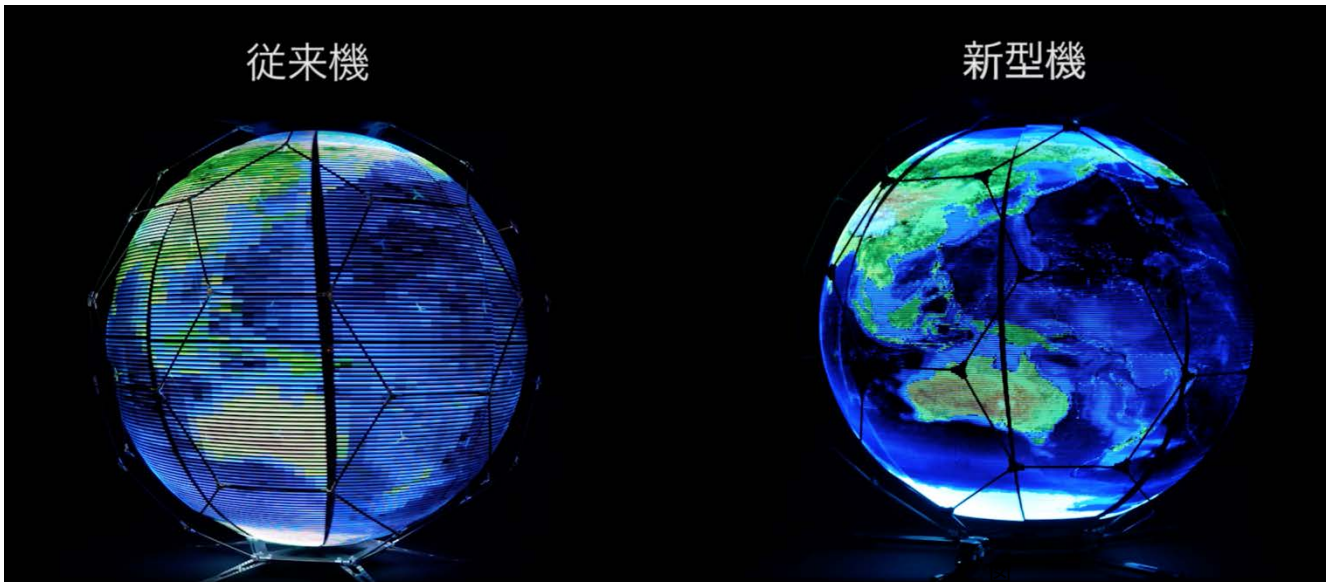


図3: 2017年開発の従来機体との比較

2. 高解像度版浮遊球体ドローンディスプレイ(動画)

<https://www.youtube.com/watch?v=NT-UCv5B1es>